



LIPPS



## 2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年4月13日

上場会社名 株式会社リップス 上場取引所 東  
 コード番号 373A URL <https://lipps.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 的場 隆光  
 問合せ先責任者（役職名） 取締役経営管理担当（氏名） 上原 大輔 (TEL) 03(6804)3101  
 半期報告書提出予定日 2026年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	2,176	3.2	354	△24.8	354	△26.1	241	△23.0
2025年8月期中間期	2,109	—	471	—	480	—	314	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	94.11	88.90
2025年8月期中間期	125.67	—

(注) 1. 2024年8月期中間において、中間財務諸表を作成していないため、2025年8月期中間期の対前年中間期増減率を記載しておりません。

2. 当社は、2025年3月15日付で株式1株につき25株の株式分割を行っております。2025年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

3. 2025年8月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期中間期	4,321	3,860	89.3
2025年8月期	4,073	3,617	88.8

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 3,860百万円 2025年8月期 3,617百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年8月期の業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,748	7.7	705	△25.7	705	△25.0	489	△24.9	192.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年8月期中間期	2,587,500株	2025年8月期	2,550,000株
2026年8月期中間期	一株	2025年8月期	一株
2026年8月期中間期	2,569,268株	2025年8月期中間期	2,500,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

(注) 当社は、2025年3月15日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っております。2025年8月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が一部で見られるものの、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を下支えすることが期待される一方で、米国をはじめとする各国の通商政策や中東情勢の動向による景気の下振れリスク、物価上昇の継続に伴う消費者マインドの低下など、景気を下押しするリスクも存在しており、依然として不透明な状況が続くと予想されます。

このような状況下で当社におきましては、前期まで継続していたヘアワックスシリーズを中心とした小売店への配荷拡大が一巡したことに加え、Amazonを中心とするEC通販サイトにおいて前期に大きく売上が伸長した「スタイリストシャンプー&トリートメント」の販売が落ち着いたことにより、商品売上の成長は緩やかなものとなりました。また、シェアサロンの普及やフリーランスの増加による人材の流動化の影響でロイヤリティ収入は減少したものの、当中間会計期間の全社売上は前年同期と同水準で推移いたしました。

この結果、当中間会計期間における当社の売上高は2,176,389千円(前年同期比3.2%増)となりました。利益面につきましては、広告宣伝費の積極的な投下に加え、優秀な人材の確保・育成に向けた人件費の増加等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は354,549千円(前年同期比24.8%減)、経常利益は354,753千円(前年同期比26.1%減)、中間純利益は241,794千円(前年同期比23.0%減)となりました。

なお、当中間会計期間におけるセグメントの業績は、次のとおりであります。

## (商品事業)

商品事業においては、スキンケア領域で新商品「フェイススタイリングウォッシュ(泡洗顔)」及び「フェイススタイリングトナー(化粧水)」を企画・開発し、2025年10月よりAmazonを中心とした各種ECサイト及びヘアサロン「LIPPS hair」にて販売を開始いたしました。また、2025年11月からはロフトをはじめとする小売店舗においても順次販売を開始しております。

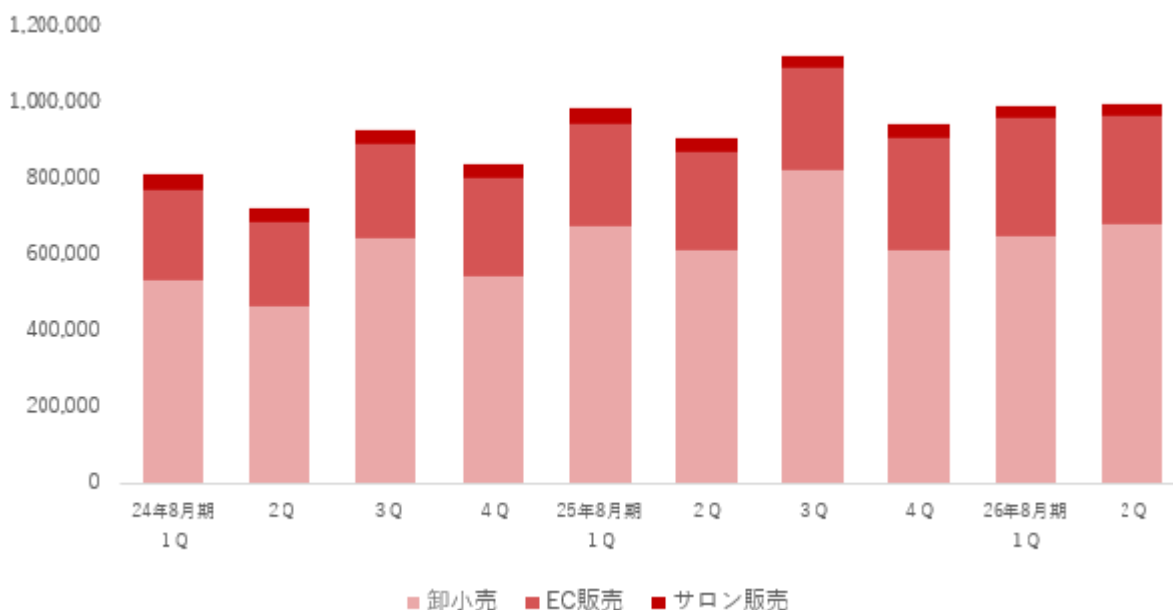
ヘアケア領域においては、シャンプー&トリートメントについて、ヘアサロン「LIPPS hair」の現場で実際に使用されているサロン発ブランドとしての強みを活かし、販売拡大に取り組んでおります。小売店舗への導入計画も順調に進展しており、当事業年度中には取扱店舗数が約10,000店舗を突破する見込みです。

ECチャンネルにおいては、新規顧客の獲得及びブランド認知度の向上を目的として、2025年9月にYahoo!ショッピング内にLIPPS公式ショップを開設いたしました。

その他の取り組みとして、下期に向けた多数の企画品や限定品の開発に着手するとともに、小売店と連携した店頭プロモーション施策を強化しております。これらの取り組みにより、既存商品の認知拡大を図り収益基盤の強化に努めてまいります。

なお、2024年8月期以降の四半期ごとの商品売上の販売チャネル別推移は次のとおりであります。

(単位：千円)



この結果、当中間会計期間における商品事業のセグメント売上高は1,992,723千円(前年同期比5.1%増)、セグメント利益は301,352千円(前年同期比23.2%減)となりました。

## (サロンフランチャイズ事業)

近年、ヘアサロン業界ではシェアサロンの普及やフリーランスの増加により人材の流動化が進み、安定的な人材の確保と育成が大きな課題となっております。サロンフランチャイズ事業においてもその影響を受け、売上が減少しております。このような事業環境のもと、サロンフランチャイズ事業では、データ分析を行いスタイリストごとに課題の可視化や改善策のアドバイスを行う取組みを開始しました。

また、これまでサロンフランチャイズ事業は独立を希望するスタイリストに対し、店舗開発などの支援を行ってまいりましたが、試験的にフランチャイジーと協働で支援をする取組みも行っております。

この結果、当中間会計期間におけるサロンフランチャイズ事業のセグメント売上高は183,666千円（前年同期比14.3%減）、セグメント利益は53,197千円（前年同期比32.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当中間会計期間末における総資産は4,321,774千円となり、前事業年度末に比べて247,948千円増加いたしました。流動資産は4,208,906千円となり、265,168千円増加しております。これは主に現金及び預金が104,319千円増加したこと、商品及び製品が150,035千円増加したことによるものであります。

また固定資産は112,867千円となり、17,219千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が9,591千円減少したことによるものであります。

## (負債)

当中間会計期間末における負債は461,011千円となり、前事業年度末に比べて4,879千円増加いたしました。これは主に未払金が132,431千円増加したことに対して、未払法人税等が39,342千円減少、賞与引当金が26,873千円減少、その他流動負債に含まれる未払消費税等が70,131千円減少したことによるものであります。

## (純資産)

当中間会計期間末における純資産は3,860,762千円となり、前事業年度末に比べて243,069千円増加いたしました。これは主に中間純利益の計上により利益剰余金が241,794千円増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は2,756,896千円となり、前事業年度末と比較して104,319千円増加いたしました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は103,902千円（前年同期は352,784千円の獲得）となりました。これは主に、税引前中間純利益354,753千円及び未払金の増加132,761千円に対して、売上債権の増加37,358千円、棚卸資産の増加133,078千円、未払消費税等の減少70,131千円及び法人税等の支払137,529千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は858千円（前年同期は10,718千円の使用）となりました。これは無形固定資産の取得による支出858千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,275千円（前年同期はなし）となりました。これは新株予約権の行使による株式の発行による収入1,275千円によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の業績予想は、2025年10月15日付で公表した「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、公表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,652,576	2,756,896
売掛金	614,696	652,054
商品及び製品	503,870	653,906
原材料及び貯蔵品	94,664	77,707
前払費用	73,624	63,419
その他	4,306	4,922
流動資産合計	3,943,738	4,208,906
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	33,770	33,770
減価償却累計額	△3,712	△4,790
建物附属設備(純額)	30,057	28,980
工具、器具及び備品	29,245	29,245
減価償却累計額	△21,787	△23,234
工具、器具及び備品(純額)	7,458	6,010
有形固定資産合計	37,516	34,990
無形固定資産		
商標権	5,392	5,006
ソフトウェア	17,159	14,824
その他	834	1,362
無形固定資産合計	23,386	21,192
投資その他の資産		
出資金	10	10
長期前払費用	2,250	577
繰延税金資産	45,418	35,827
その他	21,505	20,269
投資その他の資産合計	69,184	56,684
固定資産合計	130,087	112,867
資産合計	4,073,825	4,321,774

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年8月31日)	当中間会計期間 (2026年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	30,491	49,123
未払金	93,764	226,195
未払費用	21,142	21,065
未払法人税等	150,643	111,300
契約負債	324	275
預り金	9,433	7,840
賞与引当金	43,942	17,068
その他	82,689	4,341
流動負債合計	432,432	437,211
固定負債		
預り保証金	23,700	23,800
固定負債合計	23,700	23,800
負債合計	456,132	461,011
純資産の部		
株主資本		
資本金	171,990	172,627
資本剰余金	1,584,990	1,585,627
利益剰余金	1,860,713	2,102,507
株主資本合計	3,617,693	3,860,762
純資産合計	3,617,693	3,860,762
負債純資産合計	4,073,825	4,321,774

## (2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
売上高	2,109,739	2,176,389
売上原価	887,178	923,077
売上総利益	1,222,560	1,253,312
販売費及び一般管理費	750,849	898,762
営業利益	471,711	354,549
営業外収益		
受取利息	5	11
違約金収入	6,263	—
補助金収入	3,500	—
業務受託料	211	170
受取補償金	163	85
その他	459	2
営業外収益合計	10,603	269
営業外費用		
上場関連費用	2,000	—
株式交付費	—	65
営業外費用合計	2,000	65
経常利益	480,314	354,753
税引前中間純利益	480,314	354,753
法人税、住民税及び事業税	117,082	103,367
法人税等調整額	49,058	9,591
法人税等合計	166,140	112,959
中間純利益	314,173	241,794

## (3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	480,314	354,753
減価償却費	12,096	6,482
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15,767	△26,873
受取利息	△5	△11
株式交付費	—	65
売上債権の増減額 (△は増加)	130,200	△37,358
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△190,498	△133,078
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,009	18,631
未払金の増減額 (△は減少)	△6,509	132,761
前払費用の増減額 (△は増加)	23,082	10,204
未払消費税等の増減額 (△は減少)	45,005	△70,131
その他	△9,809	△14,023
小計	452,100	241,421
利息の受取額	5	9
法人税等の支払額	△99,321	△137,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	352,784	103,902
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△891	—
無形固定資産の取得による支出	△9,827	△858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,718	△858
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	1,275
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	1,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	342,065	104,319
現金及び現金同等物の期首残高	1,864,803	2,652,576
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,206,868	2,756,896

## (4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	商品事業	サロンフランチャイズ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,895,379	214,360	2,109,739
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—
計	1,895,379	214,360	2,109,739
セグメント利益	392,514	79,196	471,711

(注) セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。

当中間会計期間(自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	商品事業	サロンフランチャイズ事業	
売上高			
外部顧客への売上高	1,992,723	183,666	2,176,389
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—
計	1,992,723	183,666	2,176,389
セグメント利益	301,352	53,197	354,549

(注) セグメント利益は、中間損益計算書の営業利益と一致しております。